

米子市立山陰歴史館

歴史館だより

2024. 5. 1 vo. 9



歴史館のマスコットキャラクター
れきくん　しーちゃん　かんくん

連携事業～鉄道模型～

「Nゲージ展示運転・操作体験」

山陰歴史館では企画展の開催中に、鉄道の街米子「米子の鉄市」実行委員会の協力を得て、1階の第1展示室横で「Nゲージ展示運転・操作体験」を開催しています。

今回は「見た目、インパクトのある列車/話題性のあった列車」を展示運転しています。来館者の車両の持ち込み運転もOKです。ぜひ、観覧参加ください。



Nゲージの車両模型

開催日時 5月4日(土)、5月5日(日)、5月18日(土)、5月19日(日)、
6月2日(日)、6月8日(土)、6月9日(日)

開催時間 午前10時30分から午後4時

開催場所 1階第1展示室横(企画展会場内)

観覧参加料 企画展観覧料 300円 ※5/18(土)は「国際博物館の日」記念事業のため無料
共催 鉄道の街米子「米子の鉄市」実行委員会

2階常設展 「古代からのメッセージ展」を開始

米子市内には、原始時代から人々が住んでいた証の遺跡や遺物がたくさん見つかっています。

遺跡例を挙げてみると、2万年前の石器が出土した諏訪西山ノ遺跡、8千年前の縄文時代早期の上福万遺跡、6千年前の縄文時代前期の米子駅裏の目久美遺跡、また同遺跡からは2千3百年前の弥生時代の水田跡と木製農具、千6百年前の古墳時代には集落跡の福市遺跡、また市内各所の山稜には数多くの古墳があります。淀江には弥生時代の妻木晚田遺跡、奈良時代の仏教彩色壁画を出土した上淀廃寺などです。米子には、これらの遺跡が示すように古くから人々が暮らした歴史があります。これらの遺跡の出土品や記録は、福市の米子市埋蔵文化財センターと米子市福市考古資料館に収蔵・展示されていますが、この度、山陰歴史館にも展示コーナーを設けました。



そこにある絶景「米子フォトギャラリーⅡ」開催

山陰歴史館では、米子市文化ホール、鳥取大学医学部付属病院との連携事業として、米子城に対する理解を深めてもらうよう、四季折々の米子城跡の絶景シーンをとらえた写真を展示しています。会場は米子市西町の鳥取大学附属病院の1階外来展示スペースです。そこには米子城跡のジオラマも展示しております。開催期間は5月7日(火)から5月31日(金)です。ぜひ観覧ください。

(米子城写真人 岡雄一撮影)



ダイヤモンド大山



中海オレンジロード

展示・収蔵品紹介

2階 展示室 農家のくらし

歴史館の2階の常設展示室では、米子の昭和の農家の暮らしを物語る様々な生活用具を展示しています。

展示室中央に自在鉤に鍋を釣って「囲炉裏」の間を造りつけ、土間には千歯こきや稻藁、石臼、木臼、杵、くど、水甕などを置き生活の様子を想像できるようにしています。周囲には、簾笥や棚を配置して収蔵品の収蔵を兼ねた展示を行っています。竹かご、ざる、桶、みの、傘、藁靴、下駄など生活道具を展示しています。

この部屋では昔の暮らしの学習に訪れる市内外小学生に学芸員が昔の暮らしの解説を行っており、子供たちは興味深く聞き入っています。



連携事業案内 「米子の城下町を探検しよう」

米子市児童文化センターと米子市埋蔵文化財センターとの連携事業で、「城下町を探検しよう」というテーマで城下町にまつわる場所を巡ります。

米子の江戸時代の城下町の建物は、米子城二の丸跡にある武家屋敷長屋門や内町の後藤家住宅などがありますが、このほかにも色々な城下町の遺構や痕跡が残されています。城下町を歩いて巡り、城下町の秘密や魅力を講師の米子市埋蔵文化財センターの館長が解説します。

希望者は下記まで電話で申し込みください。

開催日時 令和6年5月25日(土) 9:30~12:00

応募対象 小学生3年生から中学生で、保護者の同伴も可能です。

募集定員 先着20名(保護者含む) 参加料 無料

申し込み先 5月11日(土)より電話で受付開始します。

電話 0859-34-5455

米子市児童文化センター

持ち物 飲み物、ぼうし、タオルなど動きやすい服や靴で参加ください。



米子城絵図

令和6年度の主な展示事業

事業名	内容・入館料・入館者数	開催日又は実施期間
常設展 米子城展、昔の暮らし 展、 鉄道のまち 米子の歴史展 昭和の学校、弓浜紺展 開催中	国史跡米子城跡、鉄道資料、民俗資料、昭和の学校などの歴史をとおして、人々の暮らしの様子、2階小展示室では、米子の遺跡を紹介しています。 観覧無料	通年・随時展示替
企画展 ～米子の近・現代を映す～ 「広告いろいろ展」 開催中	米子市周辺の商店を中心に引札やチラシ、ビラなどの広告を展示紹介する。近代の商業や世情について振り返るとともに、資料としての広告の魅力を市民に発信する。 観覧料：300円 5/18(土)は無料	4月14日(日) ～ 6月9日(日)
共催展 池田家墓所写真コンクール展 共催：池田家墓所保存会	池田家墓所の写真コンクール入賞作品を展示する。 観覧無料	6月22日(土)～ 7月21日(日)
館蔵品展 「子どもの遊び・おもちゃ(仮称)」	館蔵品の子どもの遊びやおもちゃに関する資料を展示し紹介する。 観覧無料	8月4日(日)～ 10月14日(月・祝)
企画展 「民具でたどる郷土の くらし(仮称)」	郷土の暮らしや産業を支えてきた民具や、それに関連する写真や資料を展示し、その歴史を紹介する。 観覧料：300円	10月27日(日)～ 1月13日(月・祝) ※関連事業：紺製作体験、唐箕体験など
館蔵品展 「田村写真館コレクション ガラス乾板展(仮称) 共催：米子市埋蔵文化財センター、 上淀白鳳の丘展示館	令和5年度に寄贈された田村写真館コレクションのガラス乾板の米子市内各所の写真を中心に、郷土の歴史を振り返る機会とする。 観覧料 300円	令和7年1月26日(日) ～3月30日(日)

米子市立山陰歴史館



〒683-0822 鳥取県米子市中町20番地
電話/0859-22-7161 fax/0859-22-7160

開館時間 9:30～18:00 (17:30までに入館)
休館日：毎週火曜日 祝日の翌日 12月29日～1月3日

<https://yonagobunka.net/rekishi/>

E-mail: saninrekishikan@dear.net.jp [編集：小原]

